

ライフサイクルで環境負荷を低減。

〈LCA(ライフサイクルアセスメント)*の実施〉

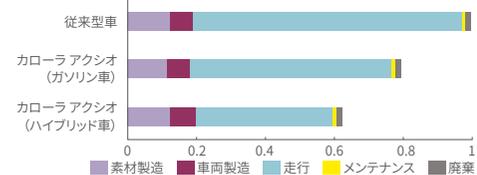
材料、部品、車両製造および走行、メンテナンス、廃棄の各段階で環境影響をトータル評価するLCAを実施しています。その結果、CO₂、NOxなどの排出量を従来に比べ低減しています。

■自動車の生涯走行距離10万km(10年)を、JC08モードで走行した場合の結果です。

■トヨタではLCAにより相対的な環境メリットを確認することを目的としているため、実施結果は指数で示しています。

* LCA:Life Cycle Assessment.資源採取～廃棄・リサイクルまでの各段階で、クルマが環境に与える要因を定量化し、総合評価する手法で、ISO14040シリーズで国際標準化されています。

LCA 実施結果 CO₂ 二酸化炭素 (Carbon Dioxide)



トヨタが乗用車を対象に実施しているLCAの手法は、ドイツの第三者認証機関テュフラインランドによるISO14040/14044規格に基づく審査・認証を受けました。

トヨタ カローラ アクシオ 環境仕様

車両仕様	車両型式	6AA-NKE165	5BA-NRE161	3BA-NZE161	3BA-NZE164	
車両重量	kg	1,140	1,090	1,070	1,170	
CO ₂ 排出量*1	g/km	84	117	135	149	
環境情報	認定レベルまたは適合規制(国土交通省)*2	平成30年基準排出ガス75%低減レベル	平成30年基準排出ガス50%低減レベル	平成30年排出ガス規制適合		
	排出ガス	1.15				
	CO	0.025				
	認定レベル値または適合規制値(g/km)	NMHC	0.05	0.1		
		NOx	0.025	0.05		
		PM	-			
規制区分		平成28年騒音規制 M1A2A				
車外騒音	加速/定常/近接	dB	70(規制値)/-/69	70(規制値)/-/77	70(規制値)/-/85	70(規制値)/-/79
冷媒の種類(GWP値*3)/使用量		g	HFC-134a(1,430*4)/420	HFC-134a(1,430*4)/370		
環境負荷物質削減	鉛	自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下*5)				
	水銀	自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止*6)				
	カドミウム	自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)				
	六価クロム	自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)				
車室内VOC*7		自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)				
環境負荷物質使用状況等	鉛	電子基板・電気部品のはんだ、圧電素子(PZTセンサー)等に使用/鉛廃止済み部品:電着塗料、燃料ホース、パワステ高圧ホース、ホイールバルancer、電球と点火プラグ、塩ビ・ゴム部品、バルブシート、軸受けなど				
	水銀	水銀廃止済み部品:コンビネーションメーター				
	六価クロム	六価クロムの使用無し/六価クロム廃止済み部品:金属部品類やボルト・ナット類の防錆目的コーティング他				
	カドミウム	カドミウムの使用無し/カドミウム廃止済み部品:電気・電子部品のICチップ基板、厚膜ペースト他				
リサイクル関係	リサイクルし易い材料を使用した部品	バンパーカバー・インストルメントパネル・その他内装材				
	樹脂、ゴム部品への材料表示	あり				
	リサイクル材の使用	ダッシュサイレンサー等				

*1. 燃料消費率は「主要諸元表」をご覧ください。 *2. WLTCモード走行 *3. GWP: Global Warming Potential (地球温暖化係数) *4. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度以降、環境影響度を製造者等ごとに出荷台数で加重平均した値が目標値150を上回らないことが求められています。 *5. 1996年乗用車の業界平均1,850g(リサイクル回収ルートが確立されているため鉛バッテリーを除く) *6. ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスプレイヘッドランプ、室内蛍光灯(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外) *7. VOC: Volatile Organic Compounds